

発行 茅部郡鹿部村
村長 棟方健太郎
編集 企画室
41. 1. 5.
印刷所 三栄印刷所

鹿部村報 しかべ

ついでのご挨拶 村長 棟方健太郎



住民のみなさま、新年おめでとうございませう。
古くからいはいはやされた言葉ですが、「一年の計は元旦にあり。」過ぎた一年を十分に省りみ、これを鑑として、これから迎える年を、真に輝やかしい、真に芽出た年とするための心構えについて考えてみたいと思います。
幸いに海難・火災などもなく、平穩裡に送った一年でしたが、主要な昆布の減収、イカ漁の皆無、スケソの薄漁などによる村内経済の目下の実状は、つまり主産業の漁業の振興がいかに

業が大型船で深いところで操業される傾向にあることは一応は前進ではあるが、現在以上にそのための全面的に漁船を大型化することは非常に問題がある。小型船はむしろ他の漁業との組み合わせ経営を工夫考すべきでないか、
春から夏にかけて沖合のサブ・サンマその他の操業を開発、十屯型漁船の効率化を大いに向上する必要がある。安くて豊富にある雑昆布・捨い昆布を軸に水産物の共同加工を開発することが何としても真剣にとりあげられなければならない。具体化に進まなければならない。おくられている鹿部漁港の砂石の浚渫、本別漁港の指定は何としても速かに解決しなければならぬ。

住民のみなさんの平素の注意と消防団の協力活動によって火災事故の絶無を期したい。
交通事故、違反などの発生は昨年はまことに憂慮にたえない姿であったので、関係機関運転者住民歩行者、全体の一層の協力と理解と注意によって事故や違反の皆無を実現したい。
みずからの努力、熱意、創意工夫を軸として真に輝やかしい、多幸な年であるよう住民みなさんの一層の御協力、御理解を切望すると共にいよいよ御健康と家業の隆昌を心から願願し、
所感の一端を申し述べまして年頭の御挨拶といたします。

住民全体の経済を大きく左右するかをあらためてみなおさなければならぬと同時に、陸上産業基盤の造成、産業の多角化がいかに恒久的な緊要事であるかを痛感されるのであります。
ここにおいて昆布採取操作方法乾燥施設の改善、漁場造成の拡大昆布・わかめの人工養殖などと真剣に取り組むこと。最近スケソ漁

陸上産業については草地の造成、放牧施設を改良しひろげることにより又暮にできた畜産農協の活動促進によって多頭数多羽数飼育の養豚養鶏肉牛宅産地形成の基盤を固めてゆく、温泉熱利用のビニールハウス栽培、れき耕栽培の開発を進めよう。
ミンク飼育事業は昨年は幸いにして、成績収支共開始以来の良好な状態が得られたので一層その好転に努力所期の目的達成をはかる観光については、内々いろいろ

村人口と世帯

(40. 11. 30. 現在)

男	2,443	人
女	2,405	人
計	4,848	人
世帯数	927	

- おもな記事
- ◎年頭のご挨拶
村長 棟方健太郎…………… 1
 - ◎村議会議長
川村宗十郎…………… 2
 - ◎村議会開催される…………… 2
 - ◎町村職員採用試験終る…………… 2
 - ◎年頭のことば
知事 町村金五…………… 3
 - ◎渡島支庁長
能登三之助…………… 3
 - ◎民生委員委嘱される…………… 4
 - ◎国保優良家庭表彰…………… 4
 - ◎季節の食物…………… 4

謹賀新年

村議会議長 川村 宗十郎



謹んで初頭の寿を御祝い申し上げます。

多事多難でありました昭和四十年も大禍無く無事に過ぎ新春を迎える事の出来ました事は村民の皆様と共に誠に御同慶に堪えません。顧みまして四十年の業績を見る時、遺憾の点と反省すべき点多々あるうかと思いますが、しかしながら理事者をはじめ職員諸君の果敢たる努力と相俟って議会議員一同の強い協力のもとに日一日と躍進の一途を辿りつゝある事は村民各位のお認めを頂ける事と深く信じております。

扱而本年度こそは恰も飛躍の年(午年)に当り過去の隘路を一切乗り越えて住み良い村造りのために一層の努力を皆様と共に力を合わせてやらなければなりません。先ず第一に漁港の整備拡充と、本別漁港の実現と云う大事業が急務であります。

次に漁業開発と併せて陸産振興の問題等特に村内一丸となつて力を結集して観光開発の問題と取組

んで行かなければならないと思ひます。

其の一步として村内道路の補装等幾多の障害はありますが、村民一丸となつて体当りの姿勢で本年度こそはこれが実現のために邁進したいと存じております。

しかしながら皆様も御承知の通り、政府予算のきびしさは一段と強化されておりますので、これが実現のためには理事者を陣頭とし議会と共に一致協力して本年度こそはの覚悟で邁進致したいと思つております。

何卒村民各位もよろしく御理解の上、最良の年になります様格段の御支援と御協力を賜ります様御願ひ申し上げます。年頭に当り一言申し上げまして御祝のことばと致します。

第一回 町村職員採用試験終る

採用試験終る

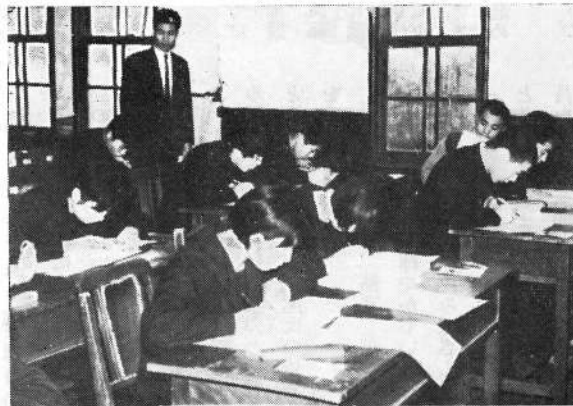
昭和四十年度を第一回とする町村職員採用試験は、十二月十二日渡島管内五地区において行なわれました。

鹿部は、南茅部・砂原を加えた第四ブロックであるが、鹿部が、その試験場とされた。

鹿部を第一希望とする受験者は九名であり、三町村で二十七名の受験者でありました。

この結果は支庁において採点され、第一次の結果発表は一月頃の予定である。

なお、この試験は、毎年実施する予定です。



臨時第六回 村議会開催される

臨時第六回村議会は十二月二十七日開催され、一般会計予算をはじめ各特別会計がそれ、人事院勧告による給与の切替があり、追加されました。

臨時第六回村議会は十二月二十七日開催され、一般会計予算をはじめ各特別会計がそれ、人事院勧告による給与の切替があり、追加されました。

一般会計の追加額は、一百三万五千元で総額一億一千九百二十七万七千円となりました。又監査委員には現監査委員の、松本政信氏が選ばれました。

新入学児の健康診断実施

健康診断実施

昭和四十一年四月新入学予定者の心身の状況を把握し、適正な就学ができるよう、次の通り健康診断を実施いたしますので、必ず受診させて下さい。

日時 昭和四十一年一月十一日 午後一時
場所 鹿部小学校

「昭和40年度第四次 二等陸士・二等海士・二等空士の募集」

防衛庁では、現在、昭和40年度第四次二等陸、海、空士を募集しています。希望者は、役場総務課に御相談下さい。

年頭のことば

北海道知事 町村金五

道民のみなさま、あけましておめでとうございます。
希望にあふれる新年を、みなさまとともにお祝いできますことはこのうえないしあわせであります。

昨年は、心配された冷害も最小限度にとどまり、全般的に平年作に近い収穫をあげることができま



したことは、なによりも喜ばしいこととあります。このうちは、将来とも、冷害に負けない寒地農業を確立するため、最善の努力を続ける必要があると存じます。

ご承知のとおり、昨年はわが国にとりまして、内外ともまことに事の多い一年であつたのであります。本年におきましても、経済はもとより、外交などの面においてきびしい局面を迎えるものと考えられるのであります。本道におきましても、本年は、昭和三十八年から実施にはいりました第二

年頭のことば

渡島支庁長 能登三之助

管内のみなさま、あけましておめでとうございます。
みなさまと共に輝かしい新春をお迎え出来ましたことを心からお慶び申し上げます。

昨年を顧りみますと、沿岸漁業の不振、九月初旬道南を襲った集中豪雨のため一部町村の被害等暗い面もありましたが、心配されま

した冷害の影響も少なく、特にみ



なさま方のご協力により懸案の青函トンネル調査坑掘削が海底に達したのを始めとして、大野かん排

道営圃場試験水田の成功、日本海南部地域沿岸漁業構造改善事業の着手、函館空港滑走路の拡張工事着工、市営魚市場の開設、函館上磯臨海工業振興協議会の誕生、恵山国民休養温泉の指定、道南と本

管内総合開発上重要な諸問題の前進をみましましたことは、みなさまと共に誠に同慶に堪えないところでございます。
ご承知の如く昭和三十八年度に始まった道の第二期総合開発計画

は、今年で早くも四年目を迎えますが、この間道路整備をはじめとする各種の開発事業も急テンポの進捗をみせ、豊かな北海道づくりに着々と歩を進めている現況にございませう。

この中であって管内を含めた道南地方は、その地理的、気象条件において、また資源的にみても他地域に比して少しの遜色もなく、むしろ数々の優れた開発の素地と要件を備えており、投資効果率も高く北海道総合開発上極めて重要な役割を果し得る地域であると存じます。

管内といたしましては、今後これらの立地条件を十分に生かしつつ、函館市を中心とする拠点振興計画の推進、森、八雲、長万部地区における地場産業の育成、駒ヶ岳山麓地区の大規模草

地、畑地かんがい事業の促進、農漁業の近代化を図るための構造改善事業の推進、観光開発など一連の産業振興方策とともに、これらの基盤となる道路、港湾、漁港の整備、土地改良事業の促進等を重点的に推し進めてまいりたいと存じます。

しかし、これら山積する諸懸案の解決はまさにこれからであり、地域全体が一丸となってこれにあたる時、始めてそこに新たな飛躍が生まれることと存じます。

目先の漁獲より人命尊重



スケソ漁の盛漁期は、天候の急変の季節です。悲惨な海難事故を起さないよう気をつけましょう

私共地方行政にたずさわるといいたしましては、道南の開発の遅れをとりもどすため、関係方面に対し今後とも積極的に先行投資の拡大を要請し、地域開発の促進を図りたい所存であります。住民の方々の積極的な参加なくしては地域開発の真の成果は期待し得ないのであります。

みなさま方におかれましても地域開発の担い手は住民自身であることを自覚され、自らの手で自らの郷土を豊かなものに創りあげるといふ強い信念のもとに、意欲的に地域開発に参加されますことを衷心よりご期待申し上げる次第でございます。

私も微力ながら決意を新たに地域開発の進展に一層の努力をいたす所存でございますので、今後ともみなさま方のご協力ご支援を切にお願いいたします。

新しい年を迎え、みなさまのご健康とご多幸を心からお祈り申し上げて、年頭のご挨拶といたします。

昭和四十一年 元旦

鹿部村民生委員

委嘱される

昭和四十年十一月三十日任期満了により新たに十二月一日付で次のとおり厚生大臣より委嘱されました。

- 大岩地区担当 盛田 元一
- 鹿部地区担当 大堀 タカ
- 〃 佐々木 健之助
- 〃 山科 辰次
- 宮浜地区担当 葛西 タヨ
- 〃 長谷川 鉄治
- 本別地区担当 中村 林五郎
- 〃 半田 徳太郎

鹿部村国民健康保険 優良家庭表彰

昭和三十八年度一ケ年間保険税を完納し家族全員一度も病院など

北のさん一家



に行ななかつた家庭を十二月十六日役場二階で表彰致しました。

- 鹿部 根本 リサ
- 宮浜 葛西 八百三
- 本別 村林 留太郎
- 〃 下山 清一
- 出来淵 成田 敏夫
- 〃 若山 テツ

積雪期間中の重点 推進目標

「冬の道路を 広くする運動」

積雪の時期となり、一層、交通事故が増加していますので、本村交通安全推進委員会は、次のことを、皆さんに注意して、積雪間の交通事故絶滅を呼びかけておりますので、御協力下さい。

- ◇ 除雪した道路に雪を投げ入れないこと。
- ◇ 交差点の四つ角に雪をためないこと。



- ◇ 道路に、車輛を放置しないこと。
- ◇ 道路に、置看板や商品台等を置かないこと。
- ◇ 道路上でスキー・スケート遊びをしないこと。

季節の食物

- ① 「もちの吸いもの」
こんぶ、削りカツオでだし汁を作ります。
- ② とり肉は小切りにし、みつばは熱湯で色よくゆでて、三センチに切っておきます。
- ③ もちは弱火でこんがり焼き、わんの中に入れておきます。
- ④ だし汁にとり肉を入れ、沸騰したら火を弱め、上に浮かあわ、アクをすくい取り、分料の調味料で味を付け、わんにつぎ入れ、みつばをあしらいます。

- 材料 (4人分)
- ちり肉 8切
 - とり肉 100切
 - みつば 5切
 - だし汁 5カップ
 - 水 10セ
 - ごりカツ 10セ
 - 削りカツ 15セ
 - 塩 小
 - しょうゆ 小
 - 化学調味料 小

- 材料 (1人分)
- もち 2~3切
 - 大根おろし 大さじ 3
 - しょうゆ 小さじ 1
 - 花カツオ 少
 - 糸のり 少
- ① もちは、ぬれぶぎんで包み、蒸し器で蒸します。
- ② おろし大根にしょうゆを合せ、もちをからめ、器に盛って花カツオ、糸のりをふります

- ① 「酒カス汁」
塩鮭はぶつ切りし、焼き豆腐はたんざく切り、ダイコンとサトイモは輪切りにします。水なべに①とこんぶを入れ、水6カップで煮込み、沸騰したらコンブを出して、アクをすくいとります。
- ② ②の煮汁で酒カスをとき、調味料も入れ、野菜に火が通ったら柔かくゆでたもちとみつばを加え、一煮立ちさせます
- ③ 111

- 材料 (4人分)
- 鮭 150g
 - 豆腐 8
 - 根イモ 1
 - モイバ 300
 - 大豆 200
 - タマゴ 30
 - サツマ 80
 - 酒 20セ
 - コン 20セ
 - 味噌 1
 - しょうゆ 1
 - 酒 1
 - しょうゆ 1
- ① 「とろろ雑煮」
長いもをすりおろし卵を割りこんでよくすり合せます。
- ② こんぶと削りカツオでだし汁をとり、しょうゆ味のかかった清汁をつくり、熱いところへ、とろろをさじですくっておとします。
- ③ おわんに焼いたもち、ゆでたほうれん草を入れ、汁のところがふっくらしてきたらわんにそそぎいれます。

- 材料 (4人分)
- 長いも 300g
 - 卵 1コ
 - もち 8切
 - 煮だし汁 煮だし汁
 - こんぶ 10cm
 - 削りカツオ 15g
 - 水 4カップ
 - しょうゆ 大さじ 1
 - 塩 小さじ 1
 - ほうれん草 200g